

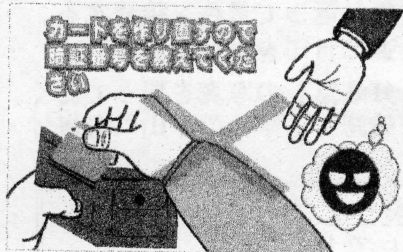
広 報

南 生 駒



生駒警察署
Tel 0743-74-0110
小瀬交番
Tel 0743-77-8020

不審電話続発



市役所職員

百貨店店員

金融機関職員

警察官

キャッシュカードを渡さないで!

現在、県内でキャッシュカードを回収する詐欺の不審電話が多発しています。

市役所職員や百貨店店員、警察官等を名乗り、「還付金があるので手続きが必要」「カードが不正利用されている」「個人情報が出ています」等と電話があり、金融機関職員を名乗り「キャッシュカードを交換するので回収する」と言って、職員を装った犯人が自宅へキャッシュカードを受け取りに来るといふ詐欺の手口です。

金融機関がカードを預かったり暗証番号を聞いたりすることは絶対にありません!

電話でお金のお話が出れば必ず詐欺を疑って、すぐに家族や警察に相談してください。



ゴルフバッグ/釣り道具/工具類 積んでいませんか?!

車上ねらいの被害のうち、3分の2以上は車外から被害品が見える状態で盗まれています。

特に、ゴルフバッグ・釣り道具・工具類などは車内に積んだままにしがちですが、被害に遭いやすいものですので、必ず車から下ろして、「車内空っぽ宣言」を実践しましょう。

車上ねらいの主な手口

- 自宅のガレージや月極駐車場にとめている車に積んだままのゴルフバッグや釣竿、工具類等が盗まれる
- 工事等で作業中、助手席に置いていた財布を盗まれる
- 店舗で買い物する間、車内足元に置いていたカバンを盗まれる



安全登山のためのミニ知識

1. まずは、事前準備から始めよう!

- ・登山口と登山ルートの確認
- ・地図、コンパス、ツェルト、防寒着、レインウェア、ヘッドライト、笛、非常食等の準備
- ・登山届の作成、提出（「登山届」は、家族や友人等に渡しておきましょう。

2 道迷いによる山岳遭難防止対策

- ・時折、後ろを振り返って景色を確認する。
- ・自分の通った道に目印を付けておく。
- ・「道標」や「分岐点」の写真撮っておく。
- ・日没の時間を確認し、早めの下山に心掛けましょう。

平成29年中、奈良県内では47件55名の山岳遭難が発生しました。山岳遭難の原因の多くが「地理不案内」による「道迷い」でした。そこで、「道迷いによる山岳遭難防止」と「万が一、道に迷ってしまった。」場合のミニ知識です。

3. 道迷いかな!?と思ったら...

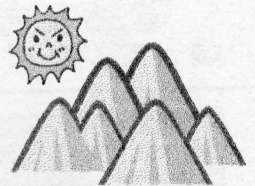
- ・一旦、立ち止まって深呼吸をして落ち着きましょう。（地図、コンパスで現在地を確認）
- ・現在地がわかる場所まで引き返す。（前へ進まず引き返しましょう。）
- ・引き返しても現在地が分からない場合は、山を下らずに上を目指そう。（山を登れば携帯電話の電波も届きやすいです。）

4. 登山届の提出について

- 「登山届」を作成することで、
- ・計画に無理はないのか?
 - ・装備品や携行品は十分か?
- といった、計画段階からの見直しや確認が自身で出来るばかりではなく、万が一、遭難された場合、登山ルートが判明する等、捜索隊が活動を行うために、非常に重要な有効なものです。

安全に登山を楽しむためにも

- ・複数人での登山
- ・初めてのコースは経験者と一緒に!
- ・自分の体力に合った無理のない計画を心掛けましょう。



冬季の運転は慎重に! (スタッドレスタイヤ、チェーンの準備は?)

～ 雪道や凍結路を安全に走行するためには～

- **いつもより早く出発しましょう。**
スリップしやすい積雪路や凍結路の運転で、焦りは禁物です。時間と気持ちに余裕をもって運転するためには、いつもより、早く出発しましょう。
- **カーブの手前では、十分にスピードを落としましょう。**
積雪路や凍結路のカーブでは急ブレーキを避け、カーブ手前では、普段より遅く感じるくらい十分にスピードを落としましょう。曲がる時は、ハンドルをゆっくりと操作し、カーブから出るときは急加速を避け、アクセルを踏み込まずゆっくりと加速しましょう。
- **車間距離をとり、ゆっくりとしたスピードで走行しましょう。**
積雪路や凍結路で走行する際は、スリップしたときのことを考えて、いつもより長い車間距離をとります。ブレーキから足を離したときに車が動き出す「クリープ現象」を利用して静かに走り始め、ゆっくりとしたスピードで走行しましょう。停止するときはエンジンブレーキを利用して徐々に速度を落とし、急ブレーキを避けましょう。
- **橋の上や、トンネルの出入口付近は、特に注意して走行しましょう。**
橋の上やトンネルの出入口付近は風通しがよく、凍結がしやすくなります。スピードで橋に上ると乾燥した路面からぬれやすくなり、スリップする危険性があります。橋の上やトンネルの出口では、凍結しているかもしれないと意識して、十分注意して走行しましょう。
- **ハンドルをしっかり握り、車輪をわだちに沿わせて走行しましょう。**
わだち（車輪の跡）がある道路では、タイヤが轍の側面に当たりハンドルをとられる場合があります。ハンドルをしっかり握り、車輪をわだちに沿わせてスピードを落として走行しましょう。
- **下り坂は、エンジンブレーキを使いましょう。**
下り坂では、スピードが出やすく、不用意にブレーキを使うとスリップするため、坂の手前で十分スピードを落とし、エンジンブレーキを使い、急ブレーキは避けましょう。